



報道各位

2010年2月1日

財団法人日本ユニセフ協会 広報室

株式会社博報堂 広報室

**レストランの水を通して募金するNY発の TAP PROJECT、  
3月22日～28日の一週間、3地域で開催  
TAP PROJECT 2010  
～きれいな水を、世界の子どもに。～  
活動のご案内**

日本ユニセフ協会とhakuhodo + design project及び博報堂の有志メンバーは、首都圏、名古屋、関西圏のレストラン・カフェとの協働により、ニューヨーク発のTAP PROJECTの日本展開として2010年3月22日（月）～28日（日）の一週間、「TAP PROJECT 2010 ～きれいな水を、世界の子どもに。～」を実施いたします。

これは昨年3月東京で開催された「TAP TOKYO」、7月に横浜で開催された「TAP YOKOHAMA」につづき、名古屋では「TAP NAGOYA」、関西地域では「TAP KANSAI」として、それぞれのレストランや地域にあわせた展開をおこなっていくものです。

「TAP PROJECT 2010」は、東京・名古屋・関西の3地域の 레스토랑・カフェで提供されるお水やお茶に対して、任意で100円もしくはそれ以上の募金をしていただく、というものです。レストラン内のテーブルに置かれたカードにてお客様に趣旨をご理解いただき、任意で100円もしくはそれ以上の募金をカードの上に置き、店員が回収し、ユニセフに募金する活動を行います。また、一部店舗ではカウンターなどに設置された募金箱による募金も実施します。

お寄せいただいた募金は、日本ユニセフ協会よりユニセフ本部に送金され、「清潔で安全な水」を手に入れることができない子どもたちのための支援活動に役立てられます。

2009年に実施されたTAP TOKYO、TAP YOKOHAMAなどの活動を通じて寄せられた約1,300万円の募金は、アフリカ南東部にあるマダガスカルでの支援活動に活用されました。マダガスカルの小学校に14基の井戸等の設置が実現し、約4,800人の子どもたちが清潔で安全な水を使え、衛生的な環境で学校生活を送れるようになりました。また、衛生習慣の普及活動なども同時に推進されました。「TAP PROJECT 2010」の活動でお寄せいただく募金も引き続きマダガスカルの支援プロジェクトに活用されます。

「TAP PROJECT 2010」実施にあたっては、活動の趣旨にご賛同いただいた著名シェフ・レストラン・カフェ約800店の参加を予定しています。なお、TAP PROJECT 2010ウェブサイト（[www.tapproject.jp](http://www.tapproject.jp)）にて募金を受け付ける仕組みも用意されます。





## ■TAP PROJECT 2010の主な活動 ～ 2009年活動からの発展

TAP PROJECT 2010は、2009年の成果を引き継ぎながら、さらに発展させ、新しい試みにチャレンジしています。

### ◆エリア・期間の拡大

昨年東京エリア限定で実施されたTAP TOKYOを、今年は3地域に拡大。東京、名古屋、関西の3エリアで実施いたします。また、期間は昨年の3日間から、3月22日(月)～28日(日)の一週間に拡大。より多くの方々の参加を呼びかけ、支援の輪が広がることを目指します。

### ◆パートナーの拡大

TAP PROJECT 2010では、レストランに加え、新たに企業パートナーの参加も拡大。TAP PROJECT実施に向けて、広報物の制作費用など資金面でのご支援、素材のご提供など、様々な形でのご支援をいただいています。

また、関西地区では、神戸市の松蔭高等学校の生徒さん有志が自らの「Blue Earth Project」の一環としてTAP KANSAIに参加。2月より、「プレTAP」活動として神戸、西宮、梅田を中心に参加をよびかけます。

### ◆TAP×MUSIC

#### 【オリジナル曲のWeb投稿・視聴による募金】

TAP PROJECT 2010ホームページには、サイトを訪問された方が、ウォーターベルによる曲づくりや演奏をWEB上で楽しめ、オリジナルの楽曲をアップロードしていただける特別サイトを設定。期間限定で、みなさまにアップロードしていただいた曲へのアクセス数に応じて、募金されるシステムを用意します。

#### 【賛同アーティストによる“水”に纏わるデジタルアルバム購入による募金】

TAP PROJECTを音楽で応援するダウンロード限定アルバムとして、水に纏わる楽曲を集めた「Water Works」がEMIミュージック・ジャパンより3月に発売予定。1ダウンロード900円のうち100円が募金として、マダガスカル支援プロジェクトに充てられます。

上記の活動のほか、3月の実施に向け、マスコミ等を通して様々な形でTAP PROJECT 2010の告知・普及活動を行い、TAP PROJECT 2010への参加と、「清潔で安全な水」を必要とする世界の現状についての啓発活動を行っていく予定です。

この件に関する報道問い合わせ：

日本ユニセフ協会 広報室 加藤、浦上 TEL:03-5789-2016 FAX:03-5789-2036

Email:jcuinfo@unicef.or.jp

博報堂 広報室 西尾、藤井

TEL:03-6441-6161 FAX:03-6441-6166

一般の方からの問い合わせ

(財)日本ユニセフ協会

フリーダイヤル：0120-88-1052 (9:00～18:00 土日祝休)





#### 【参考資料】

##### ■ TAP PROJECTの趣旨と経緯

世界では、5歳未満の子どもの5人に1人は清潔で安全な水を使うことができません。汚れた水と衛生環境が原因で、1日に3,800人もの子どもの命が奪われています。

TAP PROJECTは、きれいで安全な水が身近にある環境にいる人たちが、世界の子どもたちがおかれている状況を知り、さらに支援する仕組みです。1ドルがあれば、一人の子どもが40日間、清潔で安全な水が飲めるようになります。そこで、TAP PROJECTでは、国連が制定した3月22日の「世界水の日」にあわせ、レストランで無料で提供されるお水に対して1ドルもしくはそれ以上の募金をお願いし、ユニセフが推進する、世界中の人々が「清潔で安全な水」を使うための活動を支援します。当初このプロジェクトは、2007年ニューヨーク1都市での実施でしたが、2008年には全米46州にひろがり、期間も3月22日だけではなく複数の日で開催されるようになり、2010年はアメリカ、フィンランド、日本で開催されることが決定しています。

現在までに、世界でのTAP PROJECTを通じて、170万ドル以上の募金が寄せられました。2009年にお寄せいただいた約100万ドルの募金は、ハイチ、トーゴ、中央アフリカ、リベリア、ラオス、マダガスカルなどの水と衛生プロジェクトに活用されています。

日本で2009年に実施された「TAP TOKYO」および「TAP YOKOHAMA」とオンライン募金等で寄せられた13,059,210円はマダガスカルでの活動に役立てられています。支援により、マダガスカル南東部(Vangaindramo)の小学校16校において、手押しポンプ式の井戸14基(13校)、トイレ64基(14校)が設置され、生徒数5,706人、教師144人の方への支援へとつながりました。また、衛生習慣の普及活動なども同時に推進されました。



#### \* ユニセフについて

ユニセフは、世界 150 以上の国と地域で、生誕から青年期まで、子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動する国連機関です。ユニセフは、開発途上国で男女を問わず全ての子どもたちに保健や栄養、水と衛生、教育などの基本的なサービスを普及し、暴力や搾取、HIV/エイズの脅威から保護するための様々な支援事業を展開しています。活動資金は、すべて個人や企業・団体からの寄付金と各国政府からの任意拠出金でまかなわれています。

40 年以上に渡り、ユニセフは安全な水と衛生施設を必要としている人々に提供するためのプログラムを実施しており、井戸やトイレの建設や水と衛生に関する啓蒙活動を展開しています。「安全な水と衛生の確保」はユニセフが中期事業計画（2006 年～2009 年）で掲げる 5 つの重点分野の 1 つで、様々な政府機関や NGO 等のパートナーと協力しながら活動しています。（<http://www.unicef.org>）

#### \* 日本ユニセフ協会について

財団法人日本ユニセフ協会は、先進工業国 36 カ国にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、政策提言（アドボカシー）、募金活動を担っています。（<http://www.unicef.or.jp>）

#### \* hakuhodo + design project について

㈱HAKUHODO DESIGN社長の永井一史をリーダーとして、大きな視点から社会課題の解決及び新たな生活提案に向けて、広義のデザインの持つ可能性を追求し、実践していく博報堂の社内プロジェクト。従来の広告・マーケティングにとどまらない「デザイン」の意義を刷新する領域横断的なアプローチを目指します。（[www.h-plus-design.com](http://www.h-plus-design.com)）